

「こどもや子育てにやさしい休み方改革」 の取組状況等について

令和8（2026）年2月
こどもや子育てにやさしい休み方改革プロジェクトチーム

令和7年度の主な取組

1 こどものために休むことが当たり前となる 社会全体の機運醸成

子育て支援団体等が行う休み方改革の取組への支援

やまぐち子ども・子育て応援ファンドの寄附金を活用し、**休み方改革に関連した取組を実施する子育て団体等に対し、その取組に係る費用を助成**

▶R7助成件数：**15団体**

実施例 男女の共家事・共育児、親子の絆を深める休み方をテーマにした講演交流会の開催

<参加者数> 129名

<取組成果> 「夫婦がチームとなり育児をしていくことの大切さや、男性が主体的に育児に関わり休暇を取得することについて理解が深まった。」
(実施団体の声)



「こどもや子育てにやさしい休み方改革」月間を通じた機運醸成

11月の「こどもや子育てにやさしい休み方改革」月間中、集中的に普及啓発を実施 (R6～)

- ・ 県政放送やSNS等を通じた広報の実施
- ・ 子ども連れの方の**公の施設の利用料の免除** (令和7年11月1日～30日、7施設※)

▶利用者数(子ども連れ)：**計3,986グループ、14,507人** (前年同月比108% (14,507人/13,489人))

▶子どもの利用者数の増加率 (R5 (取組前) 同月比) **オーヴィジョン海峡ゆめタワー 6.8倍**
やまぐちフラワーランド 2.8倍 等



休み方改革に係る企業への普及啓発

- 独自の制度や取組を導入することで**休み方改革を進めている企業の想いや従業員の体験談を動画で紹介**（休み方改革月間にYouTubeで集中広告）

※出演：フラワー・ブロスTMS(株)・認定こども園野田学園幼稚園

▶**総計約30万回**視聴され、休み方改革の認知度向上に寄与

- 共育て時代の働き方・休み方改革に係る**リーフレットを作成・配布**し、育休奨励金や共育て職場環境整備に活用できる補助金、企業の取組事例を紹介



／リーフレット／



／休み方紹介動画／

休みを取得しやすい環境づくりに向けた支援

- 時間や場所にとらわれない多様な働き方のための「**新しい働き方**」ワークショップを開催
 - ▶計6会場、参加総数**89社**、伴走支援（休み方改革関係）**13社**

導入事例 ▶ **会社独自の特別有給休暇の新設、子の看護等休暇の要件緩和**

- 育休取得を推奨する企業への奨励金**の支給

▶R7やまぐち“とも×いく”応援企業登録数：**288件**（R7.12月末時点、R6からの累計**1,212件**）

▶R7「山口県もっと育休奨励金」支給件数：**256件**（R7.12月末時点、R6からの累計**1,112件**）



「家族でやま学の日」の実施

・ 県立学校の実施状況

令和6年6月にすべての県立学校で開始

- ▶ R7申請件数(12月末時点) 県立高校等：**1,414件** (取得率※6.9%)
- 総合支援学校：**134件** (取得率6.6%)

・ 市町立学校の実施状況

令和6年6月から順次開始し、すべての市町で開始

- ▶ R7申請件数(12月末時点) 市町立小・中学校：**12,282件** (取得率14.0%)

※ 取得率：R7申請件数/R7児童生徒数(学校基本調査)

活用例

- ・ 進路希望先(大学や職場)を訪問
- ・ 県内の歴史的建造物や名所、史跡巡り
- ・ 農業体験
- ・ 初めての公共交通機関体験
- ・ 動物園や水族館、資料館を見学
- ・ 博物館で日本の歴史を学習
- ・ 企業が主催する職場体験に参加

児童生徒・保護者の声

- ・ 山口の魅力を発見し、山口がもっと好きになった。
- ・ 進路希望先の大学を訪問したが、オープンキャンパスと異なり、普段の学校の様子を知ることができて、貴重な体験となった。
- ・ 土日に仕事がある家庭にとって、この制度は大変ありがたい。
- ・ 三世代と一緒に活動ができ、家族の絆が深まった。
- ・ 子どもと一緒に学ぶことを考える良い機会となった。
- ・ 障害がある子どもと、人が少ない平日にゆっくり旅行ができたのでとても助かった。



平日でも遊べる観光コンテンツの充実

- ・ 県内周遊キャンペーン 「山口ふくだるま開運さんぽ」 (令和7年7月19日～令和8年1月31日)

県内市町と津和野町を巡る宝探しイベントにおいて、家族で楽しみながら周遊することを意識したスポット、デジタルクーポンを設定



- ・ アウトドア等体験コンテンツ割引キャンペーン 「やまぐちのアソビ新発見割2025」

県内のアウトドア等体験コンテンツの体験利用料の割引

▶ 第1期 令和7年 7月1日～ 8月31日 10%割引 利用人数 **1,823人**

▶ 第2期 令和7年10月1日～12月31日 20%割引 利用人数 **1,345人**

《対象コンテンツ》ダイビング、SUP、ラフティング、サイクリング、トレッキング、釣り、果物狩りなど



- ・ 古地図を片手に、まちを歩こう。 「やさしいコース」

古地図を片手に城下町や宿場町を散策するガイドツアーにおいて、親子連れでも気軽に歴史ガイドウォークを楽しめる「やさしいコース」を実施

▶ **10回開催** (令和7年12月末時点) ※平日開催のある萩・堀内コース及び宇部・上宇部コース



令和8年度の新規・拡充の取組

社会全体の機運醸成

1 「こどもまんなかアクション」リレーシンポジウムの開催

- ・子どもや子育て中の方々を社会全体で支える機運を醸成するため、こども家庭庁とやまぐち子育て連盟の共催で、「こどもまんなか」をテーマとしたシンポジウムを開催
- ・11月の休み方改革月間中に開催し、親子で一緒に過ごすことができる時間を増やすための方法等についてディスカッション

こども
まんなか

職場環境づくり

2 もっと育休奨励金の充実 ～みんなでとも×いく～

- ・「山口県もっと育休奨励金」において、時間単位年休や家族と過ごす時間に活用できる法定外休暇の導入も加算対象であることを明記し、周知することで、企業の活用を促進

3 若者が主体となる休み方改革の展開

- ・イクボスの取組を継承しつつ、「働き方や休み方改革につながる業務改善に積極的に取り組む若手社員が活躍する企業」（ユースワークチャレンジ）の事例を創出・展開

コンテンツの充実

4 古地図を片手にまちを歩こう「やさしいコース」の拡充

- ・親子連れや、歴史に詳しくない方も気軽にガイドウォークを楽しめる「やさしいコース」のコース数の拡充を予定

❖この他、引き続き「家族でやま学の日」を実施するなど企業、学校、地域等と協働して休み方改革を推進